

知らないことや新しいことに出会うと好奇心が刺激され、もっと多くのことを学びたくなります。

「刺激され、学びたくなる」を中心に表現して、「知らないことや新しいことに出会うと」を大きく修飾表現として処理しようと思います。

「刺激され、」と「学びたくなります」の部分は、二つの出来事が並んでいると考え、最終的に、and でつなぎたいと思います。

## A. 好奇心が刺激され、

---

「好奇心」や「刺激される」も、**curiosity** や **S is stimulated** でも表現できると思いますが、もう少しよく使う表現を探してみます。「好奇心が刺激される」には【変化】が含まれます。【変化】は形容詞副詞などから作る比較級で表せるので、とりあえず【変化】のイメージを抜いて、形容詞副詞の表現を探してみます。そうすると、【好奇心がある状態】というイメージが残ります。これは、

### ▪ S is curious 「Sは好奇心がある」

で表せそうです。しかもきちんと形容詞が含まれています。**S is curious** のままでもいいのですが、変化を前面に出すために **S become curious** に、そしてそれを比較級にして **S become more curious** とします。**S** には【好奇心を感じる主体】が入り、【一般の人】なので、引き続き **you** を入れておきます。

(1)        **you become more curious**

## B. **もっと多くのことを学びたくなります。**

---

述語の中心は、

- **S want to DO 「S は DO したい」**

で表します。「なる」を、

- **S come to DO 「S は DO するようになる」**

を利用して表に出してもよいのですが、このくらいならば訳出しなくても大丈夫だとも思います。今回は後者を採用することにしました。

**S** は引き続き **you**、**DO** には **learn** が入ります。

- **S learn A 「S は A を学ぶ」**

という用法から、下の形になります。

(2) **you want to learn A**

**A** に対応する和文は「もっと多くのこと」です。中心である「こと」は【一般的な物事】で複数ありそうなので **things** を用意します。「もっと多く」は **more** です。付け足して **more things** を **A** にいれます。

(3) **you want to learn more things**

## C. 知らないことや新しいことに出会うと

---

長めの修飾表現は、つなぎ方から考えると便利です。日本語ではつなぎの語句は後ろに来ることが基本です。「と」の部分から、紐解いていきます。

### (a) (S) (V) すると

---

【ある理由】をつなぎの表現で【ある出来事】につなげる場合は **because** を用いますが、【ある場合】を【ある出来事】につなげる場合は **when** です。【ある条件】と考えて **if** を用いる手もいけると思うのですが、ここでは、

- **when (S)(V) 「(S)(V)するとき」**

を選びます。

### (b) 知らないことや新しいことに出会う

---

該当する(S)(V)は「知らないことや新しいことに出会う」です。述語として表せそうな「出会う」を英語にします。【人に出会う】ときは、

- **S meet A 「S は A に会う」**

を利用しますが、「知らないことや新しいこと」は人ではありません。「知らないことや新しいこと」に出会った時、【目を大きく見開いて、その対象を見て、あっとなっている】のが想像できます。その状況は、簡単な英語で表現すると **find** だし、多少難しくすると **encounter** になると思います。ここでは、

- **S find A 「S は A を見つける」**

を利用します。S は【一般の人】なので **you** となります。

(4) you find A

Aに入る、「知らないこと」と「新しいこと」に取り組みます。それぞれの「こと」は **things** で表せそうで、二つとも表現してもいいのですが、一つにまとめて、「知らない」と「新しい」を修飾させることにしました。「新しい」は **new** です。 「知らない」は **don't know** が浮かびやすいと思いますが、文の形をしているので、関係詞節としてあらわしてもいいのですが、一語で **unfamiliar** が浮かんだので、それを **new** と並べて以下のようにしました。

(5) unfamiliar or new things

ここではつなぎの表現は **or** を使いました。 **and** にすると、「知らないこと」と「新しいこと」を二つとも満たすものになってしまうからです。ここでは、どちらかでも満たせばいいという文脈ですよ。

そしてこのカタマリを、(4)の **you find A** の **A** に入れると次のようになります。

(6) you find unfamiliar or new things

(c) (a) + (b)

---

そして **when (S)(V)** の **(S)(V)** に入れます。

(7) when you find unfamiliar or new things

**D. A. + B. + C.**

---

予定通り、**A.**と**B.**は , **and** で結びます。 **when (S)(V)**は主節の前に置いて後ろに置いてかまいません。今回は前に置くことにしました。

- (8) **When you find something unfamiliar or new, you become more curious, and you will want to learn more.**

**Model Answer**

When you find something unfamiliar or new, you become more curious, and you will want to learn more.